

---

## 岐阜県立益田清風高等学校

学校長 田中 彰

学校住所 岐阜県下呂市萩原町萩原 326-1 電話 0576-52-1021

---

- 1 会議の名称 益田清風高校について語る会（平成29年度第2回）  
学校関係者評価委員会
- 2 会議の構成
- |     |       |                   |      |            |
|-----|-------|-------------------|------|------------|
| 委員  | 井上 一徳 | 下呂ショッピングセンターピア理事長 |      |            |
|     | 上田 克巳 | 萩原チキンセンター役員       | (欠席) |            |
|     | 中島 敏博 | 育友会長              |      |            |
|     | 富士本雅子 | 主婦                | (欠席) |            |
|     | 二村 一範 | 元金山中学校長           | (欠席) |            |
|     | 間所 拓也 | 飛騨螺子製作所代表取締役社長    | (欠席) |            |
|     |       |                   |      | (委員名は五十音順) |
| 学校側 | 田中 彰  | 校長                |      |            |
|     | 福村 晃一 | 教頭                |      |            |
|     | 丹羽 清徳 | 教頭                |      |            |
|     | 野中 賀雄 | 教務主任              |      |            |
|     | 石丸 浩国 | 生徒指導部長            | 欠席代理 | 上田         |
|     | 後藤 洋治 | 進路指導部長            | 欠席代理 | 西垣         |
|     | 野村 敦志 | 特別活動部長            |      |            |
|     | 塚中 一成 | 保健安全部長            | 欠席代理 | 橋本         |
- 3 会議の目的 学校運営等について、地域住民や保護者から幅広く意見を聞き、地域社会からの理解・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進する。
- 4 会議の開催 平成30年1月18日（木）14:10～16:00 益田清風高校校長室等  
委員2人と学校側8人が出席
- 5 日程
- |     |                |             |
|-----|----------------|-------------|
| (1) | 成果発表会参観        | 14:10～15:00 |
| (2) | 語る会（校関係者評価委員会） | 15:15～16:00 |
|     | ・参観のご感想        |             |
|     | ・自己評価に対する学校評価  |             |

## 6 発表会参観の感想

- 感想 1 ・昨年も立派なよい発表だったが、今年もより立派な発表だった。聞く側の生徒の態度もすばらしい。さらにこのレベルを維持していただき向上してほしい。
- ・発表②「社会人としてのマナー」については、意図するところがわかりにくいと個人的に感じた。もう少し掘り下げるともっと良い発表になったと思う。
- 感想 2 ・他の学科が何を学んでいるのかがよくわかるので良いと思う。
- 部活動の三つの発表は他の部の励みになる。
- ・大勢の前で発表する経験は大切なものであり有意義である。たくさんの生徒にさせてあげたい。

## 7 自己評価に対する学校関係者評価

- 意見 1 ・良い状態からそれよりも良い評価をつけることは難しいが、さらに維持向上を目指していただきたい。
- ・SNSの利用・活用について、同世代のつながりのみならず、広い範囲に及んでいる。企業と生徒のつながりもある。SNSの使い方、マナーなども含めて専門家を招いての学習会など必要な時代になってきている。
- ・校内掲示物を拝見して、地元企業に多く就職している印象を持った。
- ・中部地区では優秀な人材を青田買いする企業もあるらしい。地元にも優秀な生徒が就職して活躍してほしい。
- ・部活動は多くの成果を得ていて先生方の努力やご苦勞も大変なことだと思う。OBも活躍していることは地元としても大変うれしい。維持するのは大変だが頑張っていたきたい。
- 意見 2 ・苦手教科を意欲的に学べる指導を実践していただきたい。得意教科をさらに伸ばして学力向上を目指していただきたい。
- ・各領域で地域社会に関心意識が持てる授業内容であると地元地域に残る生徒が増えるのではないか。地元地域に残る生徒が増えるとありがたい。情報の交流共有をしながら連携を図りたい。
- ・「なぜ、規則は守らなければいけないのか」をかみ砕いて理解させ教えていただきたい。
- ・情報社会の中で粘り強く活動する生徒の育成を望む。
- ・部活動は生徒個人の頑張りが成果を生む。
- ・災害時における個人の行動として、J R・バスの利用者も多く、その時の身の安全の対応意識が持てるとよい

## 8 会議のまとめ

各自己評価を学校側から説明し、委員の方から昨年度よりはじめた成果発表会についての感想と、本校の教育活動全般へのご意見をいただいた。

地域に貢献していこうという様々な取組に対して評価をいただいた。また、本校に対する高い期待と、様々なご意見やご助言をいただいた。来年度の参考にしていきたい。

委員の皆様にはご多用の中ご出席いただき、貴重なご意見を賜ったことに対して、厚く感謝申し上げます。